



File 8

【特別支援学校教諭】

令和6年度採用 1年目
県南地区(栃木市) 勤務

○ 教員を目指したきっかけ

私の祖父母が教員で、先生という仕事は身近にあり、小学校1年生の頃から将来の夢は「教員」でしたが、学校に行けず、つまずいてしまった時期がありました。

そんな時に、自分を認め寄り添ってくれた先生と出会い、教員を目指したいという思いがより強くなりました。

大学に進学した後、特別支援教育を学んだことで、一人一人に寄り添うことのできる特別支援学校の教員を目指すようになりました。



○ 副担任としてのやりがい



私は現在、肢体不自由教育部門の小学部で、2クラス5名の副担任をしています。副担任は、担任の先生方のサポートはもちろん、クラスの児童全員の指導や支援ができなければなりません。そのため、一人一人の支援の仕方を覚える必要があり、大変なことも多いです。

それでも、副担任だからこそ、様々な実態の児童と関わることができ、小さな成長や変化に気づくことができたときは、うれしくなります。また、担任の先生方と「こんなことができたんですよ。」と成長の様子を共有する時間も楽しく、やりがいとなっています。

○ 職場環境や研修体制

先生方は優しく面白くて、本当に恵まれた環境だなと感じています。指導方法や教材の工夫など、いろいろなことを教えていただき、学ぶことが多いです。分からないことがあるときや困っているときには、いつも助けていただいています。

また、様々な校務分掌の主任の先生方から、業務内容や取組について学ぶ機会が設定されていたり、夏休みに開かれるてんかん等に関する講座や理学療法士の方による校内研修会が行われたりするため、明日から実践できる知識や技術を専門家の方々から学ぶことができます。



○ 教員を目指す方へのメッセージ

教員は、子供たちの成長を目の前で感じられる魅力的な仕事です。

子供たちには、「こんなことができるようになったんだ!」といつも驚かされます。その姿を見ながら、私も「こんなこともできるんじゃないか?」とワクワクしながら関わっています。

教員という仕事は、幅広く教える楽しさがある一方で、子供との関わりや校務分掌、教材づくりなどの大変さもあります。それでも、朝、子どもたちの顔を見た瞬間に元気をもらうことができ、心がしぼんでいるときでも、「この子たちが一生懸命頑張っているから自分も頑張ろう!」と勇気が湧いてきます。

皆さんを待っている子供たちや先生方がいます。私たちと一緒に頑張りましょう!



＼ 特別支援学校教諭のとある1日 ／ ※小学部:肢体不自由部門、副担任(勤務時間は参考例です。)

8:30	出勤	
8:30~ 8:40	スケジュール確認、教室の整備、授業の準備、朝の打合せ	
8:50~ 9:10	児童の受け入れ	
9:10~ 9:45	朝の準備(連絡帳の確認、体温測定、水分補給、排泄指導 等)	
9:45~ 9:55	朝の会	○教室の先生方と連携しながら、順番にトイレの支援や見守りを行っています。
9:55~10:40	授業①:生活単元学習(冬を感じよう)	
10:50~11:35	給食の準備(水分補給、排泄指導 等)	
11:45~12:45	給食指導	○児童一人一人の実態に応じた学習を行っています。写真カードを用いたコミュニケーションの学習や校内を散策する歩行の学習を行うこともあります。
13:20~14:05	授業②:自立活動	
14:05~15:00	帰りの準備、帰りの会	
15:00~15:10	下校指導	
15:20~17:00	教室清掃、振り返り、翌日の授業準備、校務分掌に係る業務	
17:00	退勤	○先生方と児童の様子や共有したり、明日の授業の確認をしたりしています。